



YOKOHAMA 千年の杜プロジェクト

～緑の広がり、笑顔のつながり～

千年の杜プロジェクト 開始から11年の活動の広がり!

2007年度から開始した「YOKOHAMA千年の杜」は、環境GD100の「トップレベルの環境貢献企業になる」のスローガンに基づき、創業100周年を迎える2017年度までに国内外の拠点に50万本の苗木を植えるプロジェクトです。「潜在自然植生」の考えに基づき、その土地本来の樹種を植えています。また、植樹を通し

て「参加者の環境意識の啓発」、「防災、環境保全林の形成」、「温暖化抑制への貢献」、「生物多様性の維持」、「地域社会とのコミュニケーション」など地球環境や地域社会の「命を守る緑環境再生活動」でもあります。この11年間の活動は、さまざまな人・地域とのつながりと環境への貢献など大きな広がりを生み出しました。

50万本へのあゆみとCO₂吸収固定量(平塚製造所での測定を元に推定)



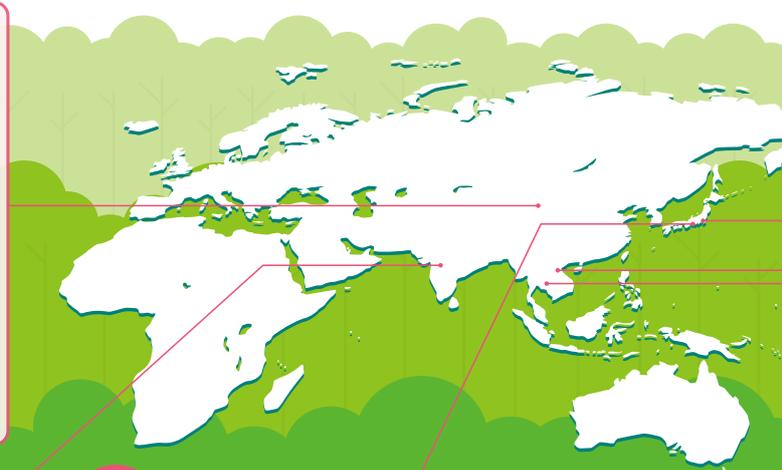
YOKOHAMA 千年の杜プロジェクト

中国



Yokohama Industrial Products
- Hangzhou Co., Ltd. (YIP-HZ)
安全環境課課長
張湧法
(ジャン・ヨン・ファン)

2014年から、毎年植樹活動を行っています。地域の植樹活動にも機会がある毎に参加し地元との関係を大切にしています。2016年3月には杭州市を流れる銭塘江近くで開催された植樹活動にも参加し、工場で育てた苗木も寄付しました。このような千年の杜の活動が地元からも注目され、2016年11月には「公益活動」としてイベントで紹介されました。2017年3月には杭州市下沙地区の小学校の植樹会で社員が植樹の指導を行いました。



インド



Yokohama India Pvt. Ltd. (YIN)
JOINT MANAGER, EHS
Pradeep Baswana
(ブラディーブ・バスマナ)

2016年2月に実施した第1期植樹会では、日本大使館や州政府職員の方々、関連会社代表、近隣の子もたちが参加し、24種の苗木2,159本を工場内敷地に植樹しました。1年後には約3mに伸び、鳥や昆虫が訪れるグリーンエリアへと生長を遂げました。2017年2月の第2期植樹会では24種1,740本を植樹。従業員が、CSR活動や生物多様性の保全活動の一環として役立てることを誇りに思い、次はカサル村への植樹も計画しています。

新城



新城工場
マイスター
内藤 勝

新城工場では、現在約7万本の苗木を育てています。苗木は幼稚園・保育園、小学校や社会福祉法人などに寄付され、地域の森づくりなどに役立っています。新城市城北こども園では、園舎の移転に伴う富永神社の鎮守の森伐採時「木の命をつなぐ」活動として、伐採されることになった樹木のどんぐり拾いから苗の育成、植樹までを支援しました。ほかにも、NPO法人どんぐりモンゴリさま、愛知県公園緑地課・自然環境課や子どもたちと植樹を行っています。

千年の杜のノウハウを生かした継続的な被災地支援 岩手県大槌町「いのちを守る森の防潮堤」

当社は、大槌町が掲げる復興計画コンセプト「海の見えるつい散歩したくなるこだわりのある『美しいまち』」の一環として取り組む「いのちを守る森の防潮堤」づくりに賛同し、モデルケースとなる森づくりを支援してきました。「いのちを守る森の防潮堤」は、千年の杜プロジェクトでご指導いただいている植物生態学者の宮脇昭氏の提唱によるものです。

宮脇方式は、土地本来の樹種、多種類の苗を育て、自然林に近い状態で密生して植える独特の手法です。2012年4月30日、町内を流れる小鮫川沿いに長さ50メートルの震災がれきを活用したマウンド(土手)を造成。第1期の植樹会を行ったのを手始めに

2015年までに約250メートルの植樹を行いました。この活動は大槌町立大槌学園の「ふるさと科」での植樹授業に引き継がれています。樹木を植えるマウンドの内部に埋められているのは、東日本大震災の際のがれき。被災した方々の思い出が詰まったがれきの有効活用だけでなく、未来に防災の思いをつながられると信じています。



平塚



平塚製造所 環境保護推進室 鈴木 史奈

千年の杜が生態系に与える影響を把握するために、野鳥観察を2008年9月から開始。野鳥観察グループ「こまたん」の方々に指導していただきながら月1回の観察会を2017年6月までに106回実施し、これまでに55種類の野鳥を観察しています。センダイムシクイなどが渡り途中に利用する様子や、メジロなどが植樹した樹木を利用して作った巣を確認するなど、野鳥と千年の杜のつながりを感じながら記録をとっています。今後も観察を継続します。

北米



Yokohama Tire Manufacturing Virginia LLC (YTMV)
Senior Environmental Specialist
Christian Yates
(クリスチャン・イエイツ)

2009年の第1期植樹祭では2,300本の苗木を植樹しました。2017年には計1万3千本の植樹を完了する予定です。工場内には生き物の棲息に寄与する千年の杜が形成され、シカやアカギツネなどの哺乳動物や絶滅危惧種のルリツグミの繁殖が観察されています。また生物多様性への寄与やCO₂吸収、地表水や土砂の流出を抑え地下水への浸透を補助するなど千年の杜の効果が、工場周辺のコミュニティからの信頼につながっていると確信しています。

ベトナム



Yokohama Tyre Vietnam Inc. (YTVI)
General Affairs section manager
Nguyen Thanh Duy Sinh
(グエン・タン・デュイ・シン) (左)
Environment section manager
Huynh Thi Thu Ai
(ヒュエン・チ・トゥ・アイ) (右)

工場以外でも近隣の8つの小学校で合計2,235本の植樹活動を実施してきました。校長の一人Nguyen Anh Hong 校長からは、「生徒たちは植えた木を誇りに思い、友人や家族を連れてきて『これが私の木なの』と自慢しており、環境保護啓発にも良いと思います。」との感想をいただいています。生徒たちが成長した木々の木陰で遊んだりする姿を見て私たちも嬉しく思いますし、気候変動等環境に対する地域の方々の意識の改善にも貢献していると自負しています。

タイ



Yokohama Tire Manufacturing (Thailand) Co., Ltd. (YTMT)
Environment Supervisor
Safety and Environment section
Nittaya Suna(ニタヤ・スナ)

2008年にタイ王国 Royal Household Bureauのシリン博士より指導をいただきながら植樹活動を開始。植樹目標5万本に対し2017年には約8万1千本(161%)を達成する計画です。2013年より工場敷地内での野鳥や昆虫のモニタリング調査を実施しています。さらに2015年からはピオトーブづくりを開始し、近隣住民・町役場・小学校等の各関係者に向け情報公開イベントを開催しました。